



お知らせ

記者発表資料	平成27年11月19日
配布日	

- 同時発表先：岡山県政記者クラブ
岡山市政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

建設業の魅力発信！若手技術者の育成を目指して

～倉敷市街地を守る高潮・耐震堤防の工事を学びます～

将来の建設業を担う若手（岡山県立笠岡工業高校環境土木科の1年生40名）が倉敷市鶴新田地区の高梁川において実施している高潮耐震堤防工事を題材として、建設現場での現場監督などの仕事『現場力』を学びます。

笠岡工業高校での座学のほか、現場では直径1m、長さ約21mの鋼管杭の圧入を見学します。

日 時：平成27年11月26日（木） 座学 8：50～10：40
現場 13：00～14：30

場 所：座学 笠岡工業高校

現場 岡山県倉敷市連島町鶴新田（詳細は別添参照）

国土交通省岡山河川事務所では、岡山三川（吉井川、旭川、高梁川）沿川の安全・安心を高めるため、河川工事や維持管理に取り組んでいます。

高梁川の下流域では平成16年の台風16号による高潮被害や今後発生が懸念されている大規模地震から倉敷市街地を守るために、高梁川の堤防整備を行っているところです。

今回の見学会は、工事現場ではどのようなことを考えて施工をしているのか、日頃授業で学んでいる知識がどのように役に立っていくのかなど、建設現場の『現場力』を（株）藤原組の責任者などから座学と現場で学び、建設技術について理解を深める機会としていただきます。

<問い合わせ先>

○国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 086-223-5101（代表）

【担当】副所長（技術） 庄司 俊介（しょうじ しゅんすけ）

工務課長 兒子 真也（にご しんや）

岡山河川事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

○（株）藤原組 086-472-2929

【担当】代表取締役 藤原 一茂

別紙

高梁川高潮耐震工事現場見学 実施要領

1. 目的

現在、高梁川下流域で行われている高潮耐震堤防工事を題材として、笠岡工業高校で土木工学を学び、卒業後、建設業界を目指すことになる環境土木科の1年生の生徒に、現場の生（ナマ）の仕事について学んでいただきます。

工事現場ではどのようなことを考えて工事の施工をしているのか、日頃授業で学んでいる知識がどのように役に立っていくのかなど、建設現場の『現場力』を（株）藤原組の責任者などから座学と現場で学び、建設技術について理解を深める機会としていただきます。

2. 場所

座学 笠岡工業高校（岡山県笠岡市横島 808 番地 TEL（0865）67－0311）

現場 岡山県倉敷市連島町鶴新田

4. 日時

平成27年11月26日（木）座学 8：50～11：40

現場 13：00～14：30

小雨決行の予定ですが、天候により中止する場合があります。

5. 参加者

岡山県立笠岡工業高校環境土木科1年生

（株）藤原組（高梁川鶴新田堤防工事受注者）

国土交通省岡山河川事務所

6. 実施場所 笠岡工業高校



現場位置図



【参考】高潮耐震工事状況（鋼管杭圧入）





高梁川鶴新田堤防工事 現場見学会

開催日：平成27年11月26日（木）

現場見学対象者：岡山県立笠岡工業高校 環境土木科 1年生（40名）

当日のスケジュール

場所	時間	実施内容
笠岡工業高校	8：50～9：40	座学① 1. 株式会社 藤原組（20分） 「工事の説明及び現場監督の職務等について」 2. 新日鐵住金 株式会社（30分） 「建設工事で多用される鋼矢板の進化について」
	9：50～10：40	座学② 3. 株式会社 技研製作所（35分） 「圧入工法新技術」 4. 株式会社 アンゼン岡山（15分） 「工事現場で取組むイメージアップ」
	10：50～11：40	座学を終えて、感想文の作成
	11：40～12：20	昼食
	12：20～13：00	移動
倉敷市 連島町鶴新田	13：00～14：30	現場見学会 1. 高潮耐震事業について概要説明 （国土交通省 岡山河川事務所） 2. 鋼管杭回転圧入工法（ジャイロプレス工法）による 施工状況の見学 3. 現場で取組んでいるイメージアップの見学 4. 現場監督が行う施工管理のポイントについて説明 5. 質疑・応答